

生活者の視点で5つの観点から世田谷区へ要望！

公明党世田谷区議団レポート
2016 新春 号

公明党は2025年へ向けて10年間の戦いを開始します！

2015年12月16日 区長へ申し入れ



大介護時代にたち向かう

- ★ 高齢者の孤独・孤立をなくす。
- ★ 介護離職(介護家族及び介護従事者)をなくす。
- ★ 健康寿命と活動寿命を延ばす。
- ★ 認知症を地域で支える。
- ★ 高齢者の住まいを確保する。
- ★ 高齢者の財産・権利を擁護する。

災害にたち向かう

- ★ 災害対策力を備えた本庁舎と世田谷総合支所(三軒茶屋)の全面改築を早期に整備する。
- ★ 下北沢周辺の防災力を高めるため、補助54号線を早期に整備する。

地域活性化にたち向かう

- ★ 2020年オリンピック・パラリンピック開催に呼応した政策(国際交流・教育・スポーツ振興・施設整備)の充実へ。
- ★ 安全性が不十分な長屋やシェアハウスに対して、住環境条例の強化。
- ★ 区内産業に建築・土木を加えて技能者の育成と支援のための専管組織を。

福祉先進にたち向かう

- ★ 子育て支援と妊娠期のケア事業の拡充へ。
- ★ 地域力を高めるための3世帯同居・近居支援の実現へ。

教育再生にたち向かう

- ★ 公立及び学校図書館への民間活力導入をスピードアップ。
- ★ 不登校をなくすため、新教育センター構想に幼児教育センター機能を加えたアウトリーチ(出張)型支援の展開へ。

新年あけましておめでとうございます。

皆様からの温かいご支援に心から感謝を申し上げます。

さて、公明党世田谷区議団は「大介護時代」にどう立ち向かうのかを、大命題に取り組みを開始しました。

かつて経験したことのない超高齢社会に備えるには、地域における仕組みを転換しなければなりません。介護・医療・まちづくり・住まい・交通など「居住福祉」という多面的な骨格に作り上げることが、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるかと確信しています。

それには、生活現場からのネットワークを生かす、新しいものを生み出す、議員一人ひとりの挑戦が要となります。

公明党しか持ちえないネットワーク力を最大限に発揮し、区民生活を守つてまいります。

本年も何卒よろしくお願いいたします。

公明党